小学生

使ってみよう！四字熟語②

努力・根性を表す四字熟語

熟語	意味 ・ 例文
四苦八苦（しくはっく）	もうダメだ！と思うくらい、本当に困って大変なこと。 レポート提出に四苦八苦した。
一心不乱（いっしんふらん）	一つのことに心を集中させて、他のことに目もくれずに頑張ること。 彼は一心不乱に本を読んでいた。
七転八起（しちてんはっき）	何度失敗しても、あきらめないで、また立ち上がって頑張り続けること。 七転八起の精神で挑戦し続ける。
悪戦苦闘（あくせんくとう）	とても難しいことに向かって、一生懸命に頑張っても、なかなかうまくいかないこと。 課題に悪戦苦闘した。
前途多難（ぜんとたなん）	これから先に、大変なことや難しいことがたくさん待っていそうなこと。 彼の道のりは前途多難だった。
堅忍不抜（けんにんふばつ）	辛いことや大変なことがあっても、じっと我慢して、絶対に心を曲げないで頑張り続けること。 堅忍不抜の精神で頑張る。
青息吐息（あおいきといき）	大変すぎて、はぁーっと大きなため息が出るほど、困ったり疲れたりしている状態。 不景気で経営者は青息吐息だ。
勇往邁進（ゆうおうまいしん）	勇気を出して、目標に向かってまっすぐ、どんどん進んでいくこと。 夢に向かって勇往邁進する。
臥薪嘗胆（がしんしょうたん）	辛いことや大変なことを我慢して、いつか目標を達成するために、じっと努力し続けること。 彼は臥薪嘗胆の努力を続けた。

チャンスや運命をあらわす四字熟語

熟語	意味 ・ 例文
文武両道（ぶんぶりょうどう）	勉強も運動も、どちらも頑張ってできること。 彼は文武両道の学生だ。
一期一会（いちごいちえ）	一生に一度しかないかもしれない、大切な出会いやチャンスのこと。 この瞬間を大切にしたい、一期一会だから。
千載一遇（せんざいいちぐう）	千年に一度あるかないかというくらい、めったにない素晴らしいチャンスのこと。 これは千載一遇のチャンスだ。
一挙両得（いっきょりょうとく）	一つのことをしたら、二つの良い結果が得られること。 （「一石二鳥」と似た意味だよ） 運動しながら学べるのは一挙両得だ。
一蓮托生（いちれんたくしょう）	良い時も悪い時も、運命を共にして、最後までみんなで一緒に頑張ること。 彼とは一蓮托生の覚悟だ。